

報道関係者各位

2016年10月27日  
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ  
日経テクノロジーオンライン

## 世界に羽ばたく日本の技術系ベンチャーを選定する

### ジェイテック スタートアップ 「J-TECH STARTUP」がスタート

10/27 よりエントリー開始、12/7 開催「J-TECH STARTUP SUMMIT」で発表

技術系ベンチャー企業の支援組織である TEP（正式名称：一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ、代表理事：国土 晋吾）と、製造業／ハイテク産業に携わる技術者・研究者・製品企画者向け総合技術情報サイト『日経テクノロジーオンライン』は、技術をビジネスのコアコンピタンスとした事業でグローバルな成長が期待される日本を代表する技術系ベンチャー企業を、「J-TECH STARTUP（ジェイテック スタートアップ）」銘柄として選定する取り組みをスタートします。

「J-TECH STARTUP」は、10月27日より一般エントリー企業を募集します。その後選考を経て10社を選出し、12月7日（水）開催の「J-TECH STARTUP SUMMIT」にて認定証を授与いたします。認定された「J-TECH STARTUP」の企業と技術については、日経テクノロジーオンラインにて紹介します。また、技術系ベンチャー企業の支援を得意とする TEP による多様な支援提供のほか、TEP の海外連携先である世界各国の「グローバルパートナー」合計22都市30名を通じて、ネットワーク紹介等の橋渡しとともに世界中のベンチャーコミュニティへ情報発信し、グローバル展開を後押ししていきます。

#### ■ 「J-TECH STARTUP」創設の趣旨

インターネットを使った SNS や EC サイト、ゲームなど様々なサービスが、人々に多くの利便性や新たな価値を生み出しています。サービス技術は、比較的短期間で製品開発が可能で、日本でも成功例や支援方法が確立されつつあります。一方、それらを支える基幹技術である高速通信や AI エンジン、CPU 技術などに代表される Deep Tech（コア技術）は、裏方的で理解が難しく、製品化までに時間と人的リソースが多くかかります。そのため、事業化リスクが高く投資等のサポート体制は十分とは言えません。

しかし、基幹技術である Deep Tech なくしてサービス技術は成り立ちません。シリコンバレーでは近年、サービス系技術を提供する会社への集中的な投資から、Deep Tech への投資が積極的に行われるようになってきました。日本の先端技術は海外からの注目が高く、2013年には、外資系グローバル企業によって、日本の大学発ロボティクスベンチャー企業の買収なども行われています。

「J-TECH STARTUP SUMMIT」は、ハードウェアだけではなく、組み込み型ソフトウェアやクラウド上の処理エンジン、バイオ技術、先端材料、ロボティクスなど、広義の Deep Tech に焦点を当て、その重要性に注目し、Deep Tech ベンチャー企業のサポート体制を確立するために必要なことを議論していきます。第2回目となる今年は、「J-TECH STARTUP」銘柄として10社を選出し発表することで、日本の Deep Tech への注目度を上げることを目指します。

## ■ 「J-TECH STARTUP」の概要

技術をビジネスのコアコンピタンスとした事業でグローバルな成長が期待される、日本を代表する技術系ベンチャー企業を「J-TECH STARTUP」銘柄として選定します。応募基準、選考概要は以下の通りです。

### <応募基準>

以下すべての要件を満たすベンチャー企業であること。

#### ① 事業分野：

技術を事業のコアコンピタンスとしていれば、ハードウェア、ソフトウェアの分野は問いません。組み込み型ソフトウェアやクラウド上の処理エンジン、バイオ技術、先端材料、ロボットなども対象となります。

#### ② ステージ：

シリーズ A まで、および株式公開前の企業を対象とします。ベンチャーキャピタル等から出資を受けていても対象となります。

#### ③ 規模：

以下の要件を満たす法人格であること。

- ・資本金額：1億円未満
- ・従業員数：50名以下
- ・大企業の子会社ではないこと

※法人の設立年は問いません。第二創業も対象となります。

### <選考基準>

以下の4項目を総合的に判断して選考します。

- ①事業の革新性（産業構造を変えるような技術であること）
- ②経済的な規模（対象とする産業規模が大きく、影響が広範囲に及ぶこと）
- ③社会的影響力（世界社会に与えるインパクトが大きいこと）
- ④事業の実行力（競争優位性、マネジメントチーム、戦略の全体整合性）

### <応募方法>

応募期間内に、以下①②の両方をお送りいただき、応募完了となります。

#### ① 応募フォーム (<https://goo.gl/forms/nlXfdElKvPu0LwYi1>) にご記入いただき送信下さい。

応募フォームは、TEP ウェブサイト (<http://www.tepweb.jp/>)、日経テクノロジーオンライン ([http://techon.jp/tech\\_startup/](http://techon.jp/tech_startup/)) からアクセスできます。

#### ② 別途、下記のポイントを押さえたプレゼン資料を、運営事務局 ([j-tech@tepweb.jp](mailto:j-tech@tepweb.jp)) までお送りください。

- (1) 事業およびビジネスモデルの概要
- (2) 「誰の」「どのような」課題を解決したいのか
- (3) 課題に解決をもたらす御社商品／サービスの概要
- (4) 競合先および御社の競合優位性
- (5) 事業の経済的・社会的インパクト

### <応募締切>

・2016年11月9日（水）受付分まで

締め切りは厳守とし、運営事務局の応募内容受領時刻で判断いたしますのであらかじめご了承ください。

### <選考方法>

選考はTEPと日経テクノロジーオンラインが共同で行います。

### <発表>

2016年11月下旬頃のプレスリリースにて公表、および2016年12月7日（水）「J-TECH STARTUP SUMMIT」にて認定賞授与を予定しています。

## <「J-TECH STARTUP」認定企業の特典>

「J-TECH STARTUP」認定企業は、以下の特典が与えられます。

- ① 技術系ベンチャー企業の支援を得意とする TEP による多様な支援を、2017 年の 1 年間無料で提供
- ② TEP の海外連携先である世界各国の「グローバルパートナー」合計 22 都市 30 名を通じた、ネットワーク紹介等の橋渡しと、世界中のベンチャーコミュニティへの情報発信によるグローバル展開の後押し
- ③ 日経テクノロジーオンラインにて、該当企業と技術についての紹介

## ■ 「J-TECH STARTUP SUMMIT 2016」について

2015 年にスタート、日本の技術系ベンチャー企業を世界に送り出すことを目指しスタートしたシンポジウム。第 2 回目となる今年は、日本を代表する技術系ベンチャー企業として「J-TECH STARTUP」銘柄を発表するほか、各種講演のほか、大企業や支援組織とのネットワーキングを行います。

## <開催概要（予定）>

- ・開催日時：2016 年 12 月 7 日（水）13:00～
- ・場所：ヒューリックホール（東京都台東区浅草橋 1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル 2 階ホール）
- ・プログラム：後日公開予定
- ・参加費：3000 円（税込）
- ・お申込み：後日公開予定
- ・主催：

一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) (<http://www.tepweb.jp/>)

TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) は、日本のトップレベルの技術をビジネス化し社会普及させることを目的として、2009 年 11 月 19 日に設立された技術系ベンチャー企業の支援組織です。コア技術を持ち、そのビジネス化を目指すリアルテック・ベンチャー企業を中心に、起業・経営経験が豊富なエンジェル投資家、専門的アドバイスが可能なメンター、ベンチャー企業との連携を望む大手企業らを会員として組成しています。

大学や研究機関、地域行政、そして海外の同様のベンチャーコミュニティにもネットワークを広げており、世界でも有数の技術系ベンチャー企業のエコシステムとなっています。

<構成メンバー> (2016 年 10 月時点)

- └アントレプレナー会員：支援を希望する個人起業家やベンチャー企業 75 会員
- └エンジェル会員：資金的支援や積極的な経営参画を行うエンジェル投資家 24 会員
- └サポート会員：弁護士や会計士など専門領域で支援を行うサポーター 53 会員
- └コーポレート会員：ネットワーク紹介や連携事業等により法人としてベンチャーを支援 8 社
- └アドバイザリーボード：情報提供、ネットワーク紹介等を行う行政、公的支援・研究機関 18 組織
- └グローバルパートナー：各国ベンチャーコミュニティのパートナー 22 都市 30 名

日経テクノロジーオンライン (<http://techon.nikkeibp.co.jp/>)

日経テクノロジーオンラインは、日経 BP 社が運営する、製造業／ハイテク産業に携わる技術者・研究者・製品企画者向けの総合技術情報サイト。技術系専門記者、外部の専門家、ジャーナリスト等による記事でさまざまな切り口の技術情報を掲載し、新しい技術が他の産業界に与えるインパクトを伝え、新産業/新事業の創出を目指しています。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

J-TECH STARTUP SUMMIT 2016 運営事務局 後藤 / E-MAIL : [j-tech@tepweb.jp](mailto:j-tech@tepweb.jp)

TEP 広報窓口 隈元、兪(ユウ) / TEL: Story Design house 内 03 6759 8989 E-MAIL : [pr@tepweb.jp](mailto:pr@tepweb.jp)